

# いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和五年 十月一日 発行

文責：大西  
編集：白川

## 【琴弾公園ヒストリー】④1

### 《宮脇仲次郎》その2

琴弾山の山上には高灯籠があります。今から百二十一年前（明治34年）に刊行された宮脇仲次郎による「錦絵讃岐名所」にも高灯籠が描かれています。仲次郎は明治28年に「高松市街明細全図」を著わして

おり、明治32年には「栗林公園地図」を描いています。その他、郷土の文士・儒家の文書、詩文集などの著書があります。大正6年刊行の《讃岐名鑑》には高松



香川県立図書館デジタルライブラリーより転載

錦絵讃岐名所



### 【琴弾公園クイズ54】

琴弾公園では現在は孔雀のみが飼育されていますが、平成時代には日本猿がおり昭和時代には孔雀以外の鳥も飼育されていました。次のどれ？

- ① 七面鳥 ● ② ニワトリ ○ ③ キジ ○



市会議員、高松商業会議所議員として仲次郎の名前が掲載されています。仲次郎の父、宮脇藤太はもと高松藩士です。時代の流れで失職した士族の一人でしたが、学問に関心が高く、明治10年（一八七七年）香川郡高松丸亀町に『開益堂』としていち早く書店を構え、その頃やっと生まれ出した学校関係の本を中心に扱ったということです。仲次郎は、この二代目店主でもあります。昭和22年（一九四七年）『宮脇書店』として法人化され、戦後、書店乱立の中、子孫の手により今も受け継がれています。

### ◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力高めること」を主な目的にしている小さな団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようと頑張っています。

『輝き隊通信バックナンバー』と検索または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることが出来ます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は閲覧できます。

<https://kagayakitai.amebaownd.com/>  
<https://mebaownd.com/http://kagayakitai.amebaownd.com/>



### うれしいお便り3

私はある日、とある喫茶店に偶然立ち寄り『輝き隊通信』を手にした。大器晩成型の画家、奥村土牛と琴弾公園について書かれた文章に目が止まり、活字嫌いな私が何とも自然に飽きることなく、最後までスラスラと読めた。

私はそのエネルギーに突き動かされ、すぐに琴弾女神の像を見に行くことにした。

『一つの文章で一人の人間がわざわざ、琴弾公園まで実際のものを見に足を運んだ。それを起こさせる文章の熱量』

私はこのことに深く感動した。輝き隊通信は読む人まで輝ける通信だと思います。今の時代だからこそ、この通信を手にとり、地元の良さとその文章の熱量に触れてみてください。素敵な出会いと時間と景色に感謝。

（豊中町 恵美さんより）



文字数の関係で原文を大幅にカットさせていただきました。ご投稿を本当にありがとうございます。

◆◆公園清掃日について◆◆  
今月の清掃日は**10月2日**です。  
午前八時～九時（雨天：10月9日）

琴弾公園の池付近に集合

みんなでいい汗を流しましょう。

※問い合わせ080-3211-11962

